

# Camping ぎふ

令和2年3月10日 発行  
発行 岐阜県キャンプ協会  
編集 野崎 英雄  
事務局 〒500-8222  
岐阜市琴塚 1-8-6 坪田方



HPQRコード

## 災害ボランティア報告

岐阜県キャンプ協会理事 市橋 郁夫



車窓から見る被災地の様子

2019年10月、日本列島を襲った台風19号。記録的な豪雨による堤防の決壊は、NHKによると59河川・90カ所。住宅の浸水被害は、少なくとも1万3000軒以上だと報じられています。

私が長野県へ災害ボランティアに行こうと思ったのは、11月3日・4日に静岡県の朝霧野外活動センターで開催された日本キャンプ協会中部・北陸ブロック会議に参加した時でした。長

野県キャンプ協会の仲間に、「長野の災害大変でしたか？」という話から、現地では災害物を運ぶためのトラックが不足していることを聞きました。そこで、私は、自分の軽トラックを使って少しでもお役に立てないかと思い、11月6日・7日に長野へ向かいました。

行くにあたって岐阜市の社会福祉協議会に問い合わせました。そして、現地まで行くのに、申請すれば高速代金はいらないということを知り、早速申請しました。高速道路料金の減免証明書を持って朝8時に家を出て、中央高速道路を5時間ひたすら走り続け長野県北部の堤防が決壊した場所に到着しました。

現地に着くと、車窓から見える景色は、どんどんと目を覆うばかりの被害の様子に変わってきました。現地ボランティアの受付へ行き、指示を受けました。そして、作業現場に行き、流入した土砂が入った土嚢袋を100~200袋を指定された場所に運搬しました。ボランティアの人が荷台にどンドンと積み込むので、タイヤがへこみ始めました。私は不安になり、「どれだけ積むのですか。」と尋ねると「乗るだけ。」と返ってきました。さすがに過積載でブレーキは利かないし停止しようとしてもなかなか止まりませんでした。



災害物であふれた下水処理場



水害の犠牲が残る家の前で作業

2車目は、泥にまみれた太陽光パネル板を20数枚、先ほどの土砂廃棄場より遠くにある県の下水処理場に搬入しました。見渡す限り広大な土地には、災害物であふれていました。災害物を大まかに分別してあり、ボランティアの人と荷台からおろしました。多くの車が災害物を搬入していました。こんなにもあるのかというほど山積みになっていました。車窓から見る家々は、無残にも壁が落ち、屋根の部分まで土砂が流れた傷跡が残っていました。

昼食後に3車目、石膏ボードを土嚢袋に入れたものを集積場に運びました。テレビ放映でもあったように、何でも集積から分別集積になっており、こんな大変な時であっても、住民の方がルールを守って搬入しているのでスムーズに搬出できました。

災害物の搬出道中、横目に入った景色の中に堤防にブルーシートが一面にかけられていました。それは、堤防の決壊場所であろうと思います。長野県への災害ボランティアに行き、私の微力な限られた時間での作業ではありましたが、少しでも片付いたのではないかと思います。しかし、この甚大な被害では、年内にとうてい終われそうにないと思いながら作業を終えました。

みなさん、ご存知でしたか。災害ボランティアに行くとき、道中の高速道路料金が地元の社会福祉協議会に申請すると減免になります。災害ボランティアを思い立ったらぜひ申請してください。

岐阜県へ帰る高速道路を走行中、「自然には勝てないなあ」「営利目的で自然を破壊し、自然環境に人間が入り込みすぎではないかなあ」と思いながらハンドルを握っていました。

## ファミリーキャンプ



8月2日・3日に揖斐高原貝月リゾートキャンプ場で開催しました。今年度は、Facebookとタウン誌に募集を掲載したところ浜松市や名古屋市、刈谷市から48名の応募があり大盛況でした。

冷たい水が流れる河原でマスを手づかみ



鶏のもも肉を炭火でホイル焼きしました。



自分でさばいたマスを塩焼きにしています。



イガ栗を火ばさみではさんで、足を使って取り出します。

### 秋だ 集まれ！ 栗ごはん



揖斐高原の木の実や枝を集めてNaturekraftを作りました。



大きな栗がいっぱい入った栗ごはん。



おいしいさん、来て良かったですね。会話が弾む秋晴れの空。



ダッチオープンで栗ごはんとスープ



ねえねえ、こんなのどう？  
うんうん、いいねえ。親子の会話がはずみました。

10月6日に揖斐高原リゾートキャンプ場で17名の参加者を迎えて開催しました。会長宅の畑の利平栗の大きさにびっくり。イガ栗の取り出しを初めて体験しました。ダッチオープンで栗ご飯を食べ、揖斐高原で拾った木の实や枝で世界にたった一つのNaturekraftを作りました。

## インストラクター養成講習会



1月11日・12日・13日、岐阜市少年自然の家で開催しました。石川県や富山県、高山市、名古屋市、養老町から6名の参加者を迎えました。それぞれの方がキャンプへの熱い思いと期待をもって参加していました。3日間キャンプ指導の基本と野外活動の技術を学びました。キャンプの仲間が増えたことをうれしく思います。

## 依頼事業 12/7 クリスマスキャンプ (生命の水と森の活動センター)



## 中部・北陸ブロック会議 11/3・4 (静岡県朝霧野外活動センター)

